

リダンダンシーが重要

足立議員

宮崎市の地すべり被災地視察



自民党の足立敏之参院議員は、9月の豪雨で被災した宮崎市を視察した。写真。局部的豪雨により高さ70㍍、延長100㍍の地すべりが発生し、宮崎市と宮崎県日南市を結ぶ国道220号とJR日南線が寸断された。海岸線に沿って走る生活道路が寸断されたことで住民生活に大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、足立議員は「東九州自動車道が整備されていれば迂回（うっかい）路として活用できた。海岸線のリダンダンシーは特に重要で早期にネットワーキングをつくっていくべきだ」と主張した。

現地では地元建設企業の龍南建設と岡崎組が24時間体制で復旧作業に当たっている。両社の現場担当者から人員確保に苦慮したことなどの説明を受けた。同県建設業協会の藤元建二会長は地域の企業が24時間体制で住民の安全確保のため取り組んでいることを足立議員に提言してほしいと訴えた。